

残暑お見舞い 申し上げます

地域と共に《その一》

はぐるまの施設の15箇所は、地域に点在してありますので、たくさんの方たちと触れ合う機会が多くあります。

日常的な、ごみ置き場の清掃やお隣さんとのご挨拶、何気ない日々のふれあいが、とても大切だと、痛感させられるこの頃です。

この度、とてもよい出会いがありましたので、皆様に紹介いたします。

地産池消

川崎野菜、地元で食べて！

武元昌伸さんご夫婦が四月に「ミミズハウス」という八百屋さんを、新多摩川ハイムの中に作りました。私たちはその趣旨に感銘を受け、共同で何かできないかと、話し合いをしてきました。

趣旨とは(朝日新聞掲載の一部抜粋)

武元さんは、川崎市内の大学を卒業後、食品メーカーの営業で二年間働いた、そのころごみの減量化に関心をもち、会社を辞めて起業を模索したが現実に至らなかつた。生ごみの堆肥化を調べ、堆肥を使う農家に入りするうちに、野菜の販売を思いついた。地元の野菜をスーパーで見かける機械は少ない。都会の農地は減る一方。農家を回って収穫された野菜を集めて販売すれば、消費者に身近になるし、農家にも販売の選択肢が広がる。(中省略)



NO. 40

2008年8月8日

社会福祉法人
はぐるまの会

広報委員会
後援会

川崎市多摩区菅馬場 1-18-17

Tel 044-946-1308

出さないよう、包装はしない。(以上新聞の抜粋)

「川崎の北部には、おいしい野菜の生産者、いい商品を作る、作業所があります。そういった地域特性を活かして、生産者、消費者、お客さん同士、地域内でそれぞれの顔が見える関係を築き、お互いが元気になる。また、環境に配慮し、循環生活を地域から始めるための、ヒントを提供する。そんな役割を担うお店を作りたいと思っています。」



武元さんご夫婦と店内

第1回「ミニズハウス」・ミニバザー開催

川崎市中野島にある、新多摩川ハイム内に、今年四月に「ミニズハウス」という元気なお店ができました。素敵で感じのよいご夫婦が、心をこめてしているお店です。そこでは地元川崎の新鮮野菜、あゆ工房のお菓子、減農薬特別栽培米、ジャム、フェアトレードの洋服などが売られています。店内は手作りの素朴な感じで、レシートは手作り、包装は極力せず、エコにも気を使います。武元さんのお話では、〇地域に元気を与えたい。〇お店を地域の方の交流の場として使つて欲しい。という希望で作られたそうです。その為、幸運にも「ミニズハウス」と出会うことができ、今回第1作業所が、お店の前でミニバザーを開かせて頂きました。自主製品や海産物の販売をし、2時間という短い時間でしたが、地元のお客さんに、はぐるまの紹介や、わかめの顧客開拓ができました。売上げもなんと、一万円近くまであり仲間の授産に大きく貢献できました。これからも色々な形で交流を続けて生きたいと思つています。引き続き、月一回のペースでミニバザーをやらせていただきますので、お近くに来られましたら、ミニズハウスさんにお立ち寄り下さい。よろしくお願い致します。

12:30 ~ 14:30
次回のミニバザーは八月十九日(火)

「ミニズハウス」所在地

川崎市多摩区中野島 6-29
新多摩川ハイム4号棟1F
TEL・FAX 044-271-1763
営業日 月・土曜日 10時~18時

(はぐるま共同作業所職員 星出 恵)



新鮮朝取り野菜が並んでいます

お店の前でミニバザー



地域と共に 《その二》

「今、駅前で元気に、掃除してたわよ」
菅工舎の仲間が、週一回行っている清掃活動を見た、ご近所さんに声をかけられました。
清掃中にゼッケンをしているので、よく目立つのだそうです。地域の清掃活動は、「町をきれいにする」ことはもちろんですが、行きかう町の人とのコミュニケーションの場として、大変貴重な時間となっています。「ご苦労さん」という声かけが、たくさん溢れる町になるといいなあと思います。

さて……

富士山クラブの方から、お電話を頂きました
「6月の富士山清掃の映像が、コスモ石油のコマ
ーシャルで流れます。そこにはぐるまの皆さん
が出演していますよ！」

早速

インターネットで検索すると、ありました。
確かに清掃に参加した仲間達です。
数秒で見逃しやすのですが、ゼッケンをしているので分かります。
流れたらヨク見てください。